

令和5年7月9日執行

白河市長選挙選挙公報

白河市長選挙管理委員会

住みたくなるまち

- 生活が潤う文化、スポーツの振興を図ります
- 子どもからお年寄りまで、楽しく過ごせる公園を整備し、住環境の充実を図ります
- 側溝を整備し車道を拡幅、使いやすく景観に配慮した道路にします
- 出逢いから結婚、新しい生活のスタートを応援します
- 白河暮らしの体験を通して、移住を促します

暮らしやすいまち

- 子育て支援を充実し、市民の健康増進、高齢者の生きがいづくりを進めます
- 巡回バスや乗合タクシーなど手軽に利用できる利便性の高い移動手段を整備します
- 子育てしながら働ける多様な仕事を創出します
- 保育園や小中学校の改革を計画的に進めるなど、教育環境を充実します

活気のあるまち

- 優良な企業を誘致し、雇用の場を確保します
- DXを活用した生産性の高い農業の取り組みを支援するとともに、林業の振興に努めます
- テレワークやサテライトオフィスなど多様な働き方を応援します

市長就任以来、市民の皆様との信頼関係を大切に、多くの事業に取り組み、産業振興などにより歳入を確保し、財政の安定化を図ってまいりました。また、大震災やコロナ禍では、国や県等と調整し前例のない難局を乗り越えてきました。歴史や文化が蓄積されています。この

子どもたちに

明るい未来を



すずき
鈴木かずお

プロフィール

- ▽白河市生まれ（1949年）
- ▽白河高等学校・早稲田大学法学部卒業
- 福島県構造改革室長、商工労働部政策監、相双地方振興局長、企業局長
- ▽白河地方広域市町村圏整備組合管理者
- ▽西白河地方市町村会長
- ▽福島県市長会顧問
- ▽全国市長会相談役

これからもずっと市民に寄り添って

魅力あるまち

- 市民の憩いの場である小峰城・南湖・白河の関を計画的に整備し、一層の魅力向上に努め、観光誘客にもつなげます
- 市民や観光客が歩いて楽しめる城下町の風情を活かした街なか整備を進めます
- 自然や歴史など足元にある資源を活かした地域振興に取り組みます

便利で環境にやさしいまち

- 市役所に来なくても簡単に行政手続きができるようにします
- 誰もがデジタルの恩恵を享受できるよう、スマートフォンの使い方を習得する機会を増やします
- 二酸化炭素の排出抑制や食品ロス削減など環境負荷の低減に取り組みます

希望をかなえるために

- 商工業、農林業、福祉等各種団体と連携し、前に進もうとする人を支援します
- 気軽に相談でき、頼れる市役所にします
- 安定した歳入を確保しながら、必要な事業を着実に進めます

中核都市として、産業、医療、教育、文化などバランスの取れた、誰もが身近な幸せを実現できるまちにしていきたいことが、子どもたちの明るい未来に繋がるものと確信しております。だからこそ、これまでの取り組みを継続し、その実現に向け、引き続き市民の皆様と対話を重ねながら、歩みを進めてまいります。



くにい
明子

箱づくりから、人づくりへ

市の箱ものは、市の借金だけでなく、国や県の補助金も入ってきて、国は、毎年交付税を払い、国家の財政を圧迫させています。国債（借金）は1200兆円を超えました。政府は政策を打ち上げても財源がないのです。

借金があるとU字回復もV字回復もない、K字社会になると言われます。今や子供の7人に1人は貧困だと言われます。貧困から脱出するのは、教育です。心と体を健全に育成することです。今年も小中学生の自殺が過去最多の514人です。不登校、いじめの問題も後を絶ちません。世界各国の教育負担では、113位。悲しいことです。

大信中学校の統合50周年記念では、選挙違反で逮捕され、選挙民に罪をなすりつけ実刑をまぬがれた元村長から記念のプレートを寄贈してもらっています。民主主義教育を行う気があるとは、とうてい思えません。教育の貧困です。

少子化になるからと大信の小学校3校を統合しました。少子化に取り組み姿勢が全くないのです。表郷小学校は、昭和56年に合併していますが、567名が293名になっています。バス代が7百万円かかっています。

箱モノは税金でつくられますが、人づくりのための教員の給料は税金ですが、先生は所得税を納めます。生活をいとなみ、経済を循環させます。また、教育は、税金を納められる人材を育てます。労働力不足が問題になっていますが、やはり教育に問題があるからです。借金は、利息を払わねばなりません。金持ちをより金持にするだけです。

政治は社会正義がなければなりません。ウクライナがEUにもNATOにも入れてもらえず、ロシアに攻め込まれたのは、政治が腐敗していたからだと言われます。私は鈴木和夫市長の市政懇談会で腐敗を訴えましたが聞き入れられず、警察に訴えました。令和元年まで6万人あった人口は、今や、5万7千5百3人になり過疎地域の指定をうけました。高速道のインターもあり、地域の拠点病院もあります。

旧白河市内の294号の建設が話題になりました。起点は、取手と書いていましたが柏市とのこと。栃木県では、ワタナベミチオ道路があるらしいです。終点は、大信地区を経て、会津若松の49号です。大信地区の当道路は、交通事故の多発区間です。バイパスの建設をしないからです。都市計画の基本は、産業道路と生活道路を分けることです。町屋の縄文遺跡を踏んづけて通行しています。言葉ありません。

きれいな選挙で明るい市政

投票日 7月9日(日)

午前7時から午後6時まで

令和5年7月9日執行

白河市長選挙選挙公報

白河市選挙管理委員会

投票日

7月9日(日)

投票時間

午前7時から

午後6時まで

あなたの大切な一票

棄権しないで

投票しましょう。

未来のための



「築きます！ あなたの一票 白河市」

白河市長選挙

白河市選挙管理委員会・白河市明るい選挙推進協議会

☎ 0248-22-1111